

(研究用)

# 当院は下記の研究を実施しています

記

## 課題名 ウイルス感染症診断のための問診の有用性の調査研究

### 研究の目的・意義

問診情報は診断のために非常に重要な情報です。これらで病気の診断や重症度の評価が行えることで適切なタイミングで医療機関への受診やウイルスの迅速検査のより適切な推奨が出来ますが、これらについての十分な調査はされてきていません。

本研究の目的は、当院において利用されている問診システムの問診情報から各種ウイルス感染症の推定や疾患別の重症度の推定が可能かを検討することです。

本研究は、国立成育医療研究センターの倫理審査委員会において承認されて実施しています。

### 研究の方法

協力医療機関に2016年10月～2017年3月までに外来を受診された方で、問診システムをもちいて、急性の気道症状または腹部症状を訴えられた方を対象とします。問診システムの問診内容と検査結果、注射や処方などの情報を調査します。問診から病気や重症度を診断できるかなどを検討します。

参加による直接的な利益はありませんが、当該研究から得られる知見により、よりよい医療が提供され等の利益を享受する可能性があります。一方で、参加することによる不利益はありません。

#### ▶ 調査項目

患者さんの性別、生年月、受診日、合併疾患  
治療内容、迅速抗原検査など

※ 本研究は、厚生労働科学研究費によって実施され、利益相反はありません。

※ 本研究の結果は厚生労働科学研究の報告書や学術集会や専門誌へ公表されます。その際、患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報を利用せず、個人情報保守されます。

(研究用)

### 研究実施機関

国立成育医療研究センター、ナビタスクリニック川崎、にしだこどもクリニック、  
亀田ファミリークリニック館山

※ ご自身が該当すると思われる方で、解析に加わることを拒否されたい場合は  
主治医にご連絡ください。研究に対する拒否によって、診療などにおいて不  
利益を受けることはありません。

※ 研究内容については以下の連絡先へご相談ください。

研究組織・連絡先：

研究代表者：

国立成育医療研究センター データ科学室 加藤省吾

TEL：03-5494-7120（内線 5041）

共同研究者

森川 和彦 東京都立小児総合医療センター

研究協力者：

河野 一樹 ナビタスクリニック川崎

西田 大祐 にしだこどもクリニック

岡田 唯男 亀田ファミリークリニック館山